



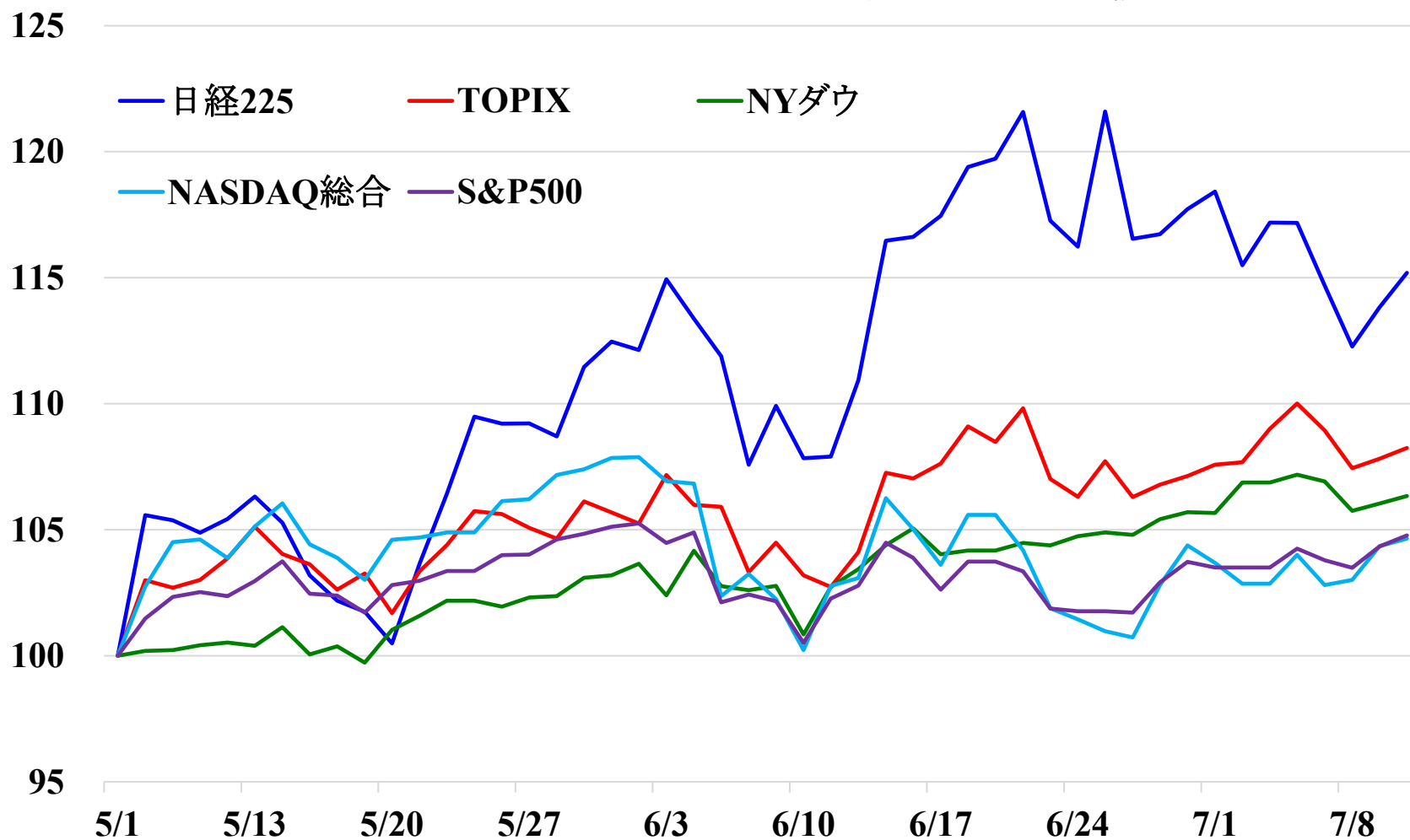
Simplex Institute

スプレッド戦略

2026年7月15日

直近の株式市場

2026年5月1日～7月10日株式市場推移(5月1日終値 = 100)



最近のニュース(1)

2026年7月11日：日本経済新聞朝刊

円高・金利低下に反転, 財務相, GPIF活用に言及, 骨太ショック「火消し」

10日の東京市場で円高・金利低下へ流れが急反転した. きっかけは片山さつき財務相の閣議後記者会見での発言だ. 年金基金の国内投資を後押しする策を探ると表明したほか, 日銀の独立性に配慮する考えも示したことに市場は強く反応した.

円相場は10日昼前に一時1ドル=161円20銭台と, 早朝より1円以上円高・ドル安に振れた. 債券市場では長期金利の指標となる新発10年物国債利回りが急低下し, 前日比0.175%低い(債券価格は高い)2.700%で終えた. 低下幅は2024年8月以来1年11カ月ぶりの大きさだった.

「金融政策の具体的な手法は日銀に委ねられるべきだ」. 円と債券の同時買いを促したのは片山財務相の発言だ.

最近のニュース(2)

2026年7月11日：日本経済新聞朝刊(続)

6月30日公表の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」の原案には日銀の「適切な金融政策運営」が「非常に重要」との文言が盛り込まれていた。市場では日銀の利上げが後手に回り、将来かえって急速な利上げを迫られる「ビハインド・ザ・カーブ」の懸念が強まっていた。

これに反応して金利上昇と円安に弾みがつき、骨太ショックとも称される動きに発展した。2日の10年物国債入札では投資家の力強い需要がみられず「低調」な結果に終わり、長期金利は9日に一時2.900%と約30年ぶりの高さに達した。円相場も1日に162円84銭と対ドルで39年半ぶりの円安水準となっていた。大同生命保険の大谷宗弘運用企画課長は「骨太ショックがどこまで波及するかわからないなかで片山氏の発言が伝わり、市場はある程度落ち着きを取り戻した」と解説する。政府は骨太の方針で日銀の独立性に言及する方向で調整に入っている。市場は「火消し」に動いたと受け止めた。

最近のニュース(3)

2026年7月11日：日本経済新聞朝刊(続々)

もう一つ注目されたのが片山氏の「家計やGPIFをはじめとする年金基金が日本の金融資産にさらなる投資をする方向で後押しする方策を追求したい」という発言だ。国債など円資産への投資を増やせば円高・金利低下につながると思惑を呼んだ。(中略)

もっとも、市場に懐疑的な見方はなお残る。「骨太ショック」を主張してきた三井住友トラスト・アセットマネジメントの稲留克俊シニアストラテジストは「財政健全化への懸念に対してはゼロ回答だ」と指摘する。骨太の原案は2025年まで記載のあった「財政健全化」の文言を外し「持続可能性」に置き換えた。GPIFを巡っても「金利が上昇したらGPIFのマネーを使う、というのは債券市場の機能を弱めるとみられてしまう」(SMBC日興証券の丸山凜途シニア金利・為替ストラテジスト)との声もある。(後略)

スプレッド取引

定義:行使価格や限月の異なるコールまたはプットの売りと買い

目的:相場の方向・変動幅を予想し,それに合わせたポジションで利益を狙う

例1. 8月69000コール 1枚買いと 8月70000コール 1枚売り

例2. 8月69000コール 1枚買いと 8月70500コール 2枚売り

例3. 8月67000プット 1枚売りと 9月67000プット 1枚買い

効用:単独のオプション買いよりは少ない資金で,相場の騰落や時間経過から利益を追求できる

方法:相場の方向観と変動幅を読み,コール・プットの別や行使価格を決める

注)「スプレッド」とは「差」を意味し,スプレッド取引は,相場変動の上限と下限の「差」や限月の「時間差」などを読む取引であると言える

スプレッド取引の種類

(1) バーティカル・スプレッド: 同じ限月の行使価格の異なるコールまたはプットの同じ枚数の売りと買い

例1. 8月69000コール 1枚買いと 8月70000コール 1枚売り

(2) レシオ・スプレッド: 同じ限月の行使価格の異なるコールまたはプットの異なる枚数の売りと買い

例2. 8月69000コール 1枚買いと 8月70500コール 2枚売り

(3) カレンダー・スプレッド: 異なる限月の行使価格が同じコールまたはプットの同じ枚数の売りと買い

例3. 8月67000プット 1枚売りと 9月67000プット 1枚買い

注) (1)は初級レベル, (3)は中級レベル, (2)はその中間レベルの戦略

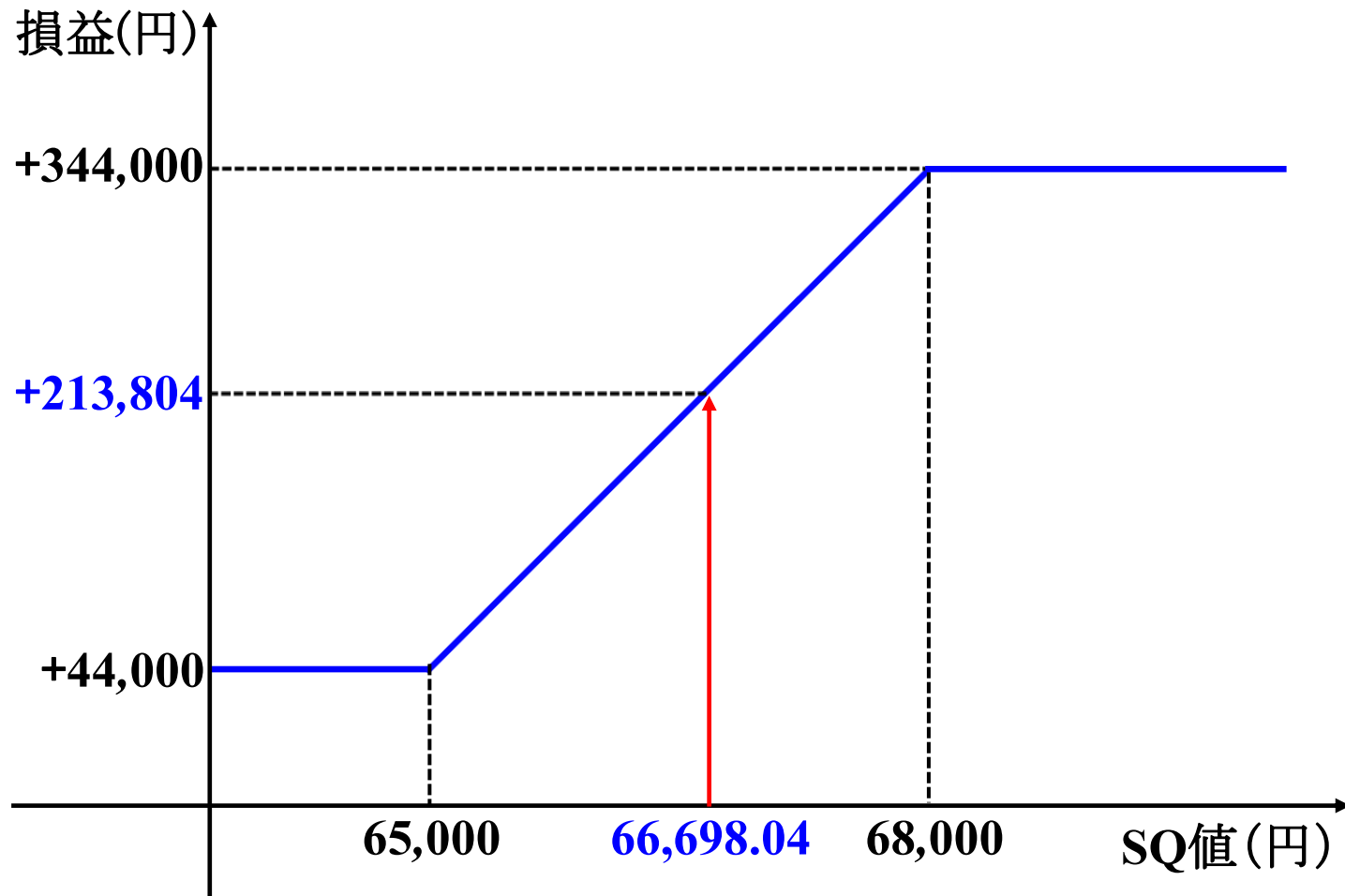
バーティカル・ブル・スプレッドの実例

限定的相場上昇という相場観に基づき、低い行使価格のコールの買いと高い行使価格のコールの売りを同じ枚数組み合わせることで、オプションの買いから失うタイム・ディケイ(TD)を緩和しながら相場観を利益に変える

実例:2026年5月22日10時15分ごろ 6月限日経miniは 63,000円前後
5月20日に日経平均は一時 60,000円割れとなったが、アク抜けで上昇すると読み、6月限行使価格 65000円ミニコールを 800円で 1枚買う
その後、読み通り相場は上昇し 6月3日9時40分ごろ 6月限日経miniが 68,000円を超え、6月限行使価格 68000円ミニコールを 1,240円で 1枚売る
6月12日のSQ値 66,698.04円で決済し、利益は +213,804円

注) 6月3日の時点で、行使価格 65000円のコールはITMとなり、まともな価格では利食えない もしコール単独買いなら SQでの損益は +89,804円

前ページ取引のSQ損益



バーティカル・ベア・スプレッドの実例

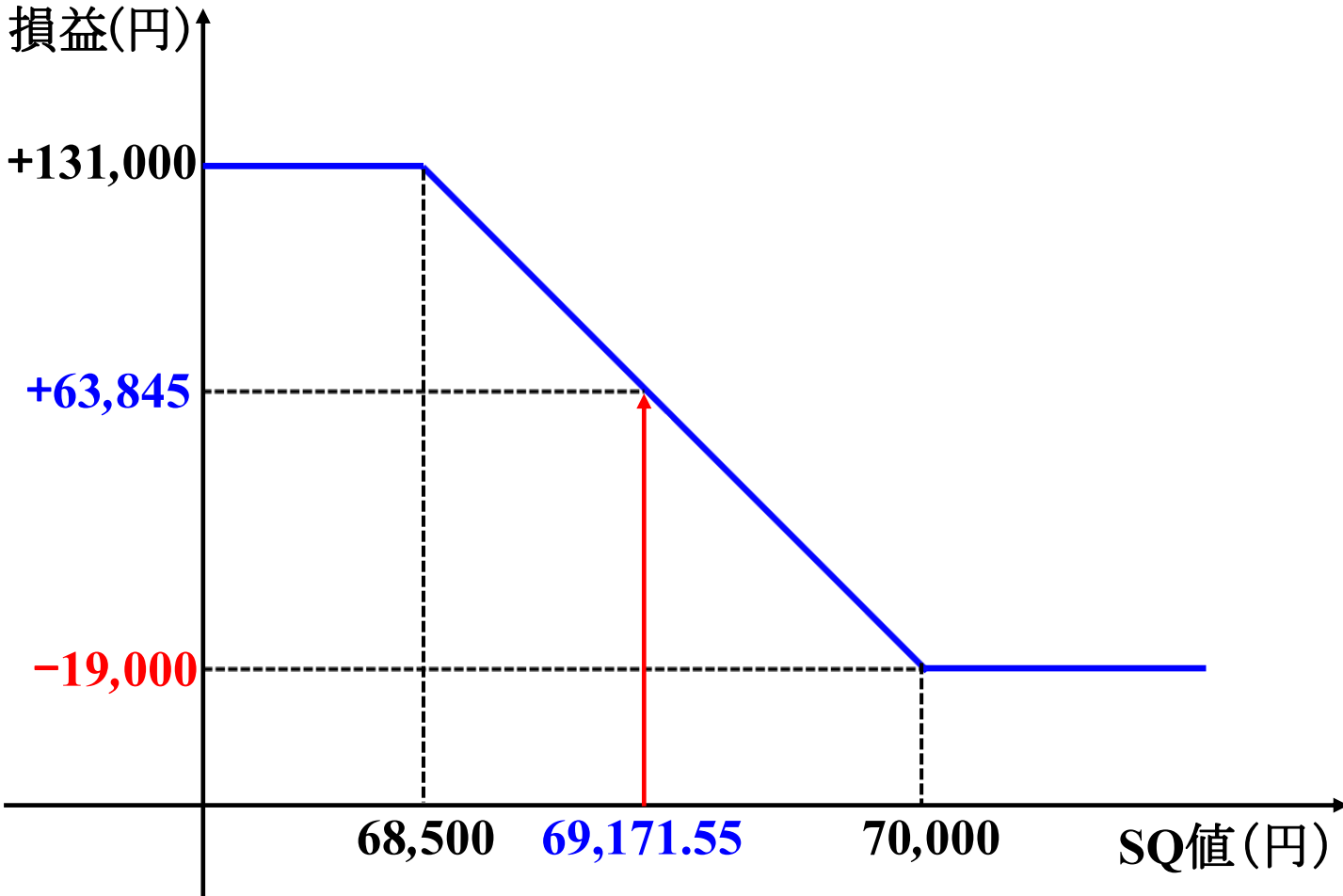
限定的相場下落という相場観に基づき, 高い行使価格のプットの買いと低い行使価格のプットの売りを同じ枚数組み合わせることで, オプションの買いから失うタイム・ディケイ(TD)を緩和しながら相場観を利益に変える

実例: 2026年6月25日12時40分ごろ 7月限日経miniは 72,000円前後

日経平均はここ数日何度か 72,500円を超えたが IVは高止まっているので下落に賭け, 7月限行使価格 70000円ミニプットを 1,280円で 1枚買う
読み通り相場は下落, 7月7日13時45分ごろ 7月限日経miniが 68,500円を割り込んだので, 7月限行使価格 68500円ミニプットを 1,090円で 1枚売る
7月10日のSQ値 69,171.55円で決済し, 利益は +63,845円

注) もしプットの単独買いなら SQでの損益は -45,155円

前ページ取引のSQ損益



バーティカル・スプレッドのポイント

- (1) オプションの「売り」と「買い」は同時である必要はない
 - まず単独の OTMの「買い」から入り, そのオプションの利が乗ってからさらに OTMの「売り」を立てるとより効果的
- (2) 同時に「売り」と「買い」を組みたいのであれば, 行使価格のスプレッドは 1,000～3,000円
 - 相場水準とボラティリティの高さでスプレッドは変化する
- (3) SQでは損益限定の取引なので, 損切りは急ぐことはないが相場観に誤りがあったと考えるのなら SQ前の決済も可能

参加者アンケート



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

講師プロフィール

伊藤祐輔(いとうゆうすけ)

株式会社シンプレクス・インスティテュート 代表取締役

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業, 1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了. 偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け, 1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社. 株式部長, 株式デリバティブトレーダーとしてマーケットにかかわる. 1999年インドスエズ・ダブリュー・アイ・カー証券(現クレディ・アグリコル証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い, 2000年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任.

免責事項

当資料の内容は, 投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり, 投資の勧誘を目的としたものではありません.

投資に関する最終的な決定は, ご自身の判断と責任においてなさるようお願い致します. 株式会社シンプレクス・インスティテュートでは, 当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても, 一切の責任を負うものではありません.

無断転載を禁ず

当資料の全部, または一部を無断で複写・複製・転載, および磁気・高記録媒体に入力することなどは, 著作権法上の例外を除き禁じられています.

株式会社シンプレクス・インスティテュート

〒105-6223 東京都港区愛宕 2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階

URL: <http://www.simplexinst.com>

ご注意事項

- 本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。
- 必要証拠金額は当社証拠金(発注済の注文等を加味した証拠金×100%)－ネット・オプション価値(Net Option Value)の総額となります。
- 当社証拠金、およびネット・オプション価値(Net Option Value)の総額は発注・約定ごとに再計算されます。
- 証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。
- 「HYPER先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクロージング開始時点の証拠金維持率(お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×100%で計算)が100%を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「HYPER先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×50%～90%の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。
- 先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構のWEBサイトをご覧ください。
- 指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。
- 日経平均VI先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均VI先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
- 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ(20～30程度)に回帰するという特徴を持っています。
日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。
なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うことになります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
- 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
- 「J-NETクロス取引」で取引所 立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
- J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご注意ください。

金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりつく株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法等に係る表示

https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商号等:株式会社SBI証券 (金融商品取引業者、商品先物取引業者)

登録番号:関東財務局長(金商)第44号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人 日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会